

平成26年4月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年6月13日
上場取引所 東

上場会社名 MICS化学株式会社
 コード番号 7899 URL <http://www.c-mics.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部門長
 定時株主総会開催予定日 平成26年7月29日
 有価証券報告書提出予定日 平成26年7月30日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 三宅 利定
 (氏名) 伊藤 久美
 配当支払開始予定日

TEL 0561-39-1211
 平成26年7月15日

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年4月期の連結業績(平成25年5月1日～平成26年4月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年4月期	2,653	3.3	36	64.7	55	29.0	24	△17.3
25年4月期	2,568	△1.4	22	—	43	174.1	29	—

(注) 包括利益 26年4月期 20百万円 (△72.0%) 25年4月期 72百万円 (—%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
26年4月期	4.62	—	0.8	1.4	1.4
25年4月期	5.59	—	0.9	1.1	0.9

(参考) 持分法投資損益 26年4月期 ー百万円 25年4月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年4月期	3,930	3,085	78.5	588.96
25年4月期	3,750	3,107	82.8	593.06

(参考) 自己資本 26年4月期 3,085百万円 25年4月期 3,107百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
26年4月期	138	751	△51	1,617
25年4月期	153	△54	△46	777

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
25年4月期	—	4.00	—	4.00	8.00	41	143.1	1.4
26年4月期	—	4.00	—	4.00	8.00	41	173.2	1.4
27年4月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00	—	119.8	—

3. 平成27年4月期の連結業績予想(平成26年5月1日～平成27年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,365	4.3	30	91.3	35	38.6	14	81.3	2.67
通期	2,800	5.5	80	118.7	85	53.1	35	44.6	6.68

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 11「3. 連結財務諸表(5) 連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年4月期	5,850,000 株	25年4月期	5,850,000 株
--------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年4月期	610,606 株	25年4月期	610,606 株
--------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数

26年4月期	5,239,394 株	25年4月期	5,239,524 株
--------	-------------	--------	-------------

(参考) 個別業績の概要

1. 平成26年4月期の個別業績(平成25年5月1日～平成26年4月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年4月期	2,554	3.4	25	△11.9	42	△12.4	11	△67.7
25年4月期	2,471	△1.7	28	—	48	78.7	35	—

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
26年4月期	2.19	—
25年4月期	6.79	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%		円 銭	%
26年4月期	3,883	79.2	3,076	79.2	79.2	587.14	
25年4月期	3,717	83.7	3,110	83.7	83.7	593.64	

(参考) 自己資本 26年4月期 3,076百万円 25年4月期 3,110百万円

2. 平成27年4月期の個別業績予想(平成26年5月1日～平成27年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,320	5.0	33	82.9	12	—	2.29
通期	2,700	5.7	80	86.9	30	161.2	2.19

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表の監査手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、2ページ「1. 経営成績 (1) 経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	2
2. 経営方針	3
(1) 会社の経営の基本方針	3
(2) 目標とする経営指標	3
(3) 中長期的な会社の経営戦略	3
(4) 会社の対処すべき課題	3
3. 連結財務諸表	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11
4. その他	12
役員の異動	12

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

① 当期の経営成績

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の金融緩和策や経済政策を背景に、企業収益の改善等、緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、消費税増税による国内景気への将来的な影響も懸念され、景気は依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは主力の食品分野におきましては、深絞り用フィルム、三方袋規格品をより多くのお客様に認知していただく新製品の拡販や、非食品分野では自動車関連、メディカル用途のシェアを増加し、リスク分散を図る活動に努めてまいりました結果、売上高は26億53百万円（前年同期比3.3%増）となりました。

一方厳しい経営環境の中、全社挙げての経費削減はもとより、複数社購買や海外原料調達など効率的な原材料購入も引き続き実施、今後の売上確保のためのインフラ整備と設備の充実を図りました結果、36百万円の営業利益（前年同期比64.7%増）となりました。なお、営業外収益として貸付金の受取利息等の計上を加算した後の経常利益は55百万円（前年同期比29.0%増）、当期純利益は24百万円（前年同期比17.3%減）となりました。

用途別の売上高につきましては、食品分野では、深絞り用フィルムの拡販、低カール規格袋の導入など機械対応需要への拡販を目指した結果、16億12百万円（前年同期比1.5%増）となりました。

非食品分野では、輸出用を含む電子分野は不振でしたが、機械部品向けや自動車産業向け製品及び医療分野向け製品が堅調に伸びました結果、5億18百万円（前年同期比5.5%増）となりました。

商品等につきましては、前連結会計年度同様に突き刺し強度の高いフィルム（SPパック）が堅調な推移をみせ販路が拡大してきており、5億22百万円（前年同期比7.0%増）となりました。

② 今後の見通し

今期の見通しにつきましては、前期末に設備投資したボイル対応の深絞り用ボトムフィルム（深絞り用のバリエーションの追加）のエンドユーザー開拓等を進めるとともに、主力製品の販売強化と開発製品や高級製品による市場開拓を行なってまいります。また、医療、介護、産業資材用途への販売拡大することで、売上高は28億円を計画しております。利益面では不透明な原油相場、為替変動による原材料費の継続的な高騰も考慮し、工程改善や経費削減等の活動をさらに推し進めるとともに、製品の適正市場価格の反映も検討し、営業利益は80百万円、経常利益は85百万円、当期純利益は35百万円を計画しております。

(2) 財政状態に関する分析

① 資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の総資産額は39億30百万円となり、前連結会計年度末日より1億79百万円増加いたしました。これは、現金及び預金が8億40百万円、機械装置及び運搬具が1億19百万円増加したものの、関係会社短期貸付金が8億円減少したこと等を反映したものであります。

負債につきましては、8億44百万円となり、前連結会計年度末日より2億1百万円増加いたしました。これは、支払手形及び買掛金が1億1百万円、その他のうち設備支払手形が1億13百万円増加したこと等を反映したものであります。

純資産につきましては、30億85百万円となり、前連結会計年度末日より21百万円減少いたしました。これは、利益剰余金が17百万円、その他有価証券評価差額金が3百万円減少したこと等を反映したものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度のキャッシュ・フローにつきましては、現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて8億40百万円増加し、当連結会計年度末には16億17百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1億38百万円（前年同期比10.0%減）となりました。

これは主に、税金等調整前当期純利益55百万円、減価償却費99百万円、仕入債務の増加1億1百万円等がありましたが、売上債権の増加額48百万円、たな卸資産の増加額52百万円、法人税等の支払額35百万円等があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は7億51百万円（前年同期は54百万円の使用）となりました。

これは主に、貸付金の回収による収入16億円がありましたが、有形固定資産の取得による支出47百万円、貸付けによる支出8億円等があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は51百万円（前年同期は46百万円の使用）となりました。

これは主に、配当金の支払による支出42百万円等によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成23年4月期	平成24年4月期	平成25年4月期	平成26年4月期
自己資本比率 (%)	81.9	80.1	82.8	78.5
時価ベースの自己資本比率 (%)	43.0	36.4	37.9	34.5

※ 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

(注1) 平成23年4月期以前は非連結の、平成24年4月期以降は連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フロー対有利子負債比率は、有利子負債がありませんので表示を省略しております。

(注4) インタレスト・カバレッジ・レシオは、支払利息・割引料がないため表示を省略しております。

2. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

当社グループは、「当社は高機能チューブフィルムの先駆者として、製品の開発、生産及び販売を通して、社会の期待に応え、その発展に貢献する。そのプロセスにおいては、常に優れた品質、納期、価格を追及し、創造性豊かな商品により、お客様に満足感を提供する。そして社員とその家族が幸福となり、社の繁栄を導くことで、永遠に成長を続ける。」の経営ビジョンのもと、以下の5つの行動規範を掲げております。

1. 果敢なチャレンジ

変化をチャンスに変え、失敗を糧にして挑戦し続ける

2. 謙虚な姿勢

社会、業界の動き、周りの意見に目と耳を傾ける

3. 技を磨く努力

常に向上心を忘れず、その道のプロをめざす

4. 強い実行力

期限を明確にし、具体的なアクションで目標を達成する

5. 明るく前向きな心

周りに対し、決して諦めない勇気と元気を与える

(2) 目標とする経営指標

当社は、投下資本に対するリターンの最大化を図ることにより、株主にとって魅力ある企業経営を行なうため、ROE(株主資本当期純利益率)を主な経営指標とした経営活動を実施してまいります。

(3) 中長期的な会社の経営戦略

当社グループでは、継続して成長し続けるため、「変化を恐れず、挑戦し続け、チャンスをつかむ」、すなわち、「CHANGE、CHALLENGE、CHANCE」をスローガンに以下の重点施策

①主力商品のパワーアップ：主力5品目の強化

②次世代製品へ果敢に挑戦：既存製品の用途開発とシーズ型新製品の開発強化

③次世代を見据えた新興市場へ勇気ある挑戦：大市場がある海外戦略を明確化

の取り組みを着実に推進し、お客様のご要望に答えられるサービスを持続的に提供していくことにより競争力を維持強化します。また、海外市場や他企業とのアライアンスを含めて、攻めの市場開拓の検討も実行し、更なる飛躍を目指します。

(4) 会社の対処すべき課題

今後の見通しといたしましては、海外では領土・領海問題や核開発問題などによる一部地域の政情不安から来る経済への影響で先行きの不透明感もありますが、一方ではアジア新興国の景気持ち直しも期待されております。

また、国内ではアベノミクス成長戦略の推進により景気回復基調が期待されますが、その行方についてはまだ確固たるものにはなっておらず、世界経済情勢の変化に連動して下振れ懸念もあります。したがって当社グループを取り巻く環境は厳しいものと思われまます。さらに、為替や原油価格の動向は当社の経営を大きく左右する要因と予想されます。

3. 連結財務諸表

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年4月30日)	当連結会計年度 (平成26年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	777,017	1,617,392
受取手形及び売掛金	654,705	702,975
商品及び製品	78,781	86,373
仕掛品	24,762	51,687
原材料及び貯蔵品	40,341	58,079
繰延税金資産	10,120	9,301
関係会社短期貸付金	800,000	-
その他	35,931	25,854
貸倒引当金	△422	△86
流動資産合計	2,421,239	2,551,577
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	419,439	395,588
機械装置及び運搬具(純額)	155,478	275,352
土地	634,701	634,701
建設仮勘定	31,549	325
その他(純額)	13,078	11,642
有形固定資産合計	1,254,248	1,317,610
無形固定資産		
その他	171	63
無形固定資産合計	171	63
投資その他の資産		
投資有価証券	37,472	33,839
繰延税金資産	12,450	1,297
その他	25,045	25,876
貸倒引当金	△94	△11
投資その他の資産合計	74,873	61,001
固定資産合計	1,329,292	1,378,675
資産合計	3,750,532	3,930,253

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年4月30日)	当連結会計年度 (平成26年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	443,093	544,737
短期借入金	17,000	16,000
1年内返済予定の長期借入金	4,748	2,004
未払法人税等	26,870	10,812
賞与引当金	17,159	17,192
その他	62,592	202,043
流動負債合計	571,463	792,789
固定負債		
長期借入金	5,491	3,320
退職給付引当金	1,857	—
役員退職慰労引当金	50,483	35,556
退職給付に係る負債	—	1,882
資産除去債務	10,500	10,500
その他	3,449	400
固定負債合計	71,781	51,658
負債合計	643,244	844,447
純資産の部		
株主資本		
資本金	774,000	774,000
資本剰余金	1,150,310	1,150,310
利益剰余金	1,828,413	1,810,704
自己株式	△263,394	△263,394
株主資本合計	3,489,329	3,471,620
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,006	1,373
土地再評価差額金	△387,533	△387,533
為替換算調整勘定	485	345
その他の包括利益累計額合計	△382,041	△385,814
純資産合計	3,107,287	3,085,805
負債純資産合計	3,750,532	3,930,253

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成24年5月1日 至 平成25年4月30日)	当連結会計年度 (自 平成25年5月1日 至 平成26年4月30日)
売上高	2,568,113	2,653,222
売上原価	1,825,357	1,930,471
売上総利益	742,755	722,751
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	111,654	118,195
役員報酬	83,575	56,245
従業員給料及び手当	245,273	224,689
賞与引当金繰入額	10,051	10,398
役員退職慰労引当金繰入額	4,983	3,575
貸倒引当金繰入額	△375	△336
その他	265,389	273,408
販売費及び一般管理費合計	720,552	686,175
営業利益	22,202	36,575
営業外収益		
受取利息	15,063	8,097
受取配当金	952	1,035
受取補償金	1,689	2,961
作業くず売却益	5,826	5,698
その他	4,982	2,607
営業外収益合計	28,514	20,401
営業外費用		
支払利息	516	394
売上割引	756	947
支払手数料	5,000	-
固定資産除却損	1,403	87
その他	10	25
営業外費用合計	7,686	1,454
経常利益	43,030	55,523
特別利益		
投資有価証券売却益	21,696	-
特別利益合計	21,696	-
税金等調整前当期純利益	64,726	55,523
法人税、住民税及び事業税	26,230	19,345
法人税等調整額	9,211	11,971
法人税等合計	35,441	31,317
少数株主損益調整前当期純利益	29,285	24,205
当期純利益	29,285	24,205

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成24年5月1日 至 平成25年4月30日)	当連結会計年度 (自 平成25年5月1日 至 平成26年4月30日)
少数株主損益調整前当期純利益	29,285	24,205
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	43,156	△3,633
為替換算調整勘定	485	△140
その他の包括利益合計	43,641	△3,773
包括利益	72,926	20,432
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	72,926	20,432

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自平成24年5月1日 至平成25年4月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	774,000	1,150,310	1,841,047	△263,150	3,502,206
当期変動額					
剰余金の配当			△41,918		△41,918
当期純利益			29,285		29,285
自己株式の取得				△243	△243
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△12,633	△243	△12,877
当期末残高	774,000	1,150,310	1,828,413	△263,394	3,489,329

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△38,150	△387,533	—	△425,683	3,076,523
当期変動額					
剰余金の配当					△41,918
当期純利益					29,285
自己株式の取得					△243
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	43,156		485	43,641	43,641
当期変動額合計	43,156	—	485	43,641	30,764
当期末残高	5,006	△387,533	485	△382,041	3,107,287

当連結会計年度 (自平成25年5月1日 至平成26年4月30日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	774,000	1,150,310	1,828,413	△263,394	3,489,329
当期変動額					
剰余金の配当			△41,915		△41,915
当期純利益			24,205		24,205
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△17,709	—	△17,709
当期末残高	774,000	1,150,310	1,810,704	△263,394	3,471,620

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	5,006	△387,533	485	△382,041	3,107,287
当期変動額					
剰余金の配当					△41,915
当期純利益					24,205
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△3,633		△140	△3,773	△3,773
当期変動額合計	△3,633	—	△140	△3,773	△21,482
当期末残高	1,373	△387,533	345	△385,814	3,085,805

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成24年5月1日 至 平成25年4月30日)	当連結会計年度 (自 平成25年5月1日 至 平成26年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	64,726	55,523
減価償却費	84,087	99,443
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	363	△14,927
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,366	33
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,365	△419
受取利息及び受取配当金	△16,015	△9,133
支払利息	516	394
投資有価証券売却損益 (△は益)	△21,696	—
有形固定資産除売却損益 (△は益)	1,330	—
売上債権の増減額 (△は増加)	129,706	△48,269
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△22,191	△52,254
仕入債務の増減額 (△は減少)	△30,303	101,644
その他	△52,005	32,734
小計	134,787	164,767
利息及び配当金の受取額	16,015	9,133
利息の支払額	702	△394
法人税等の還付額	9,569	—
法人税等の支払額	△7,282	△35,110
営業活動によるキャッシュ・フロー	153,792	138,396
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△327,579	△47,287
投資有価証券の売却による収入	271,921	—
貸付けによる支出	△800,300	△800,000
貸付金の回収による収入	800,130	1,600,000
その他	964	△758
投資活動によるキャッシュ・フロー	△54,863	751,953
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	4,000	△1,000
長期借入金の返済による支出	△8,369	△4,748
自己株式の取得による支出	△243	—
配当金の支払額	△42,208	△42,055
その他	—	△3,216
財務活動によるキャッシュ・フロー	△46,820	△51,019
現金及び現金同等物に係る換算差額	487	1,044
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	52,595	840,374
現金及び現金同等物の期首残高	716,576	777,017
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	7,845	—
現金及び現金同等物の期末残高	777,017	1,617,392

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を当連結会計年度末より適用し(ただし、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めを除く。)、退職給付債務の額を退職給付に係る負債として計上する方法に変更しております。

この結果、当連結会計年度末において、退職給付に係る負債が1,882千円計上されおります。

なお、簡便法を適用しているため、純資産への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前連結会計年度(自平成24年5月1日 至平成25年4月30日)

当社グループは、プラスチックフィルム製造事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自平成25年5月1日 至平成26年4月30日)

当社グループは、プラスチックフィルム製造事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自平成24年5月1日 至平成25年4月30日)	当連結会計年度 (自平成25年5月1日 至平成26年4月30日)
1株当たり純資産額	593.06円	588.96円
1株当たり当期純利益金額	5.59円	4.62円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年4月30日)	当連結会計年度 (平成26年4月30日)
純資産の部の合計額(千円)	3,107,287	3,085,805
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	3,107,287	3,085,805
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末 の普通株式の数(千株)	5,239	5,239

3. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自平成24年5月1日 至平成25年4月30日)	当連結会計年度 (自平成25年5月1日 至平成26年4月30日)
当期純利益金額(千円)	29,285	24,205
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益金額(千円)	29,285	24,205
期中平均株式数(千株)	5,239	5,239

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

役員の変動

① その他の役員の変動

・新任取締役候補

取締役 稲垣 功二 (現 盛田エンタプライズ株式会社取締役)

・退任予定取締役

取締役 原田 尚知

② 就任予定日

平成26年7月29日